

三浦半島の海岸植物相とその特色

大森雄治*・三浦半島植物友の会**

Floristic characteristics in the coastal vegetation of the Miura Peninsula,
central Japan

OMORI Yuji * and Botanical Society of Miura **

キーワード：三浦半島，海岸植物，植物相，海岸植生

Key words: coastal vegetation, flora, Miura Peninsula, shore plant

三浦半島の海中を含む沿岸域の植物相とその特色を、標本資料とともにまとめ、約 150 分類群を記録した。三浦半島は内湾性の東京湾と外洋性の相模湾に囲まれ、しかも、岩礁、海崖、砂浜、干潟など海岸地形が多様なため、多種多様な海岸植物が生育している。房総半島、伊豆半島、伊豆諸島と共通する植物も多い。ワダン、スナビキソウ、オキナワハイネズ、ハマツナなどは神奈川県内で三浦半島にしか分布していない。また、種としては内陸の丘陵地から連続的に分布しているものの、海岸型として形態的・生態的な特徴が顕著なソナレマツムシソウ、ハマイブキボウフウ、ハマサオトメカズラなどが見られる。一方、イトクズモ、イワタイゲキ、ハマビシなどはかつて分布していたが、環境変化などにより現在では見られない。東西 24km、南北 25km ほどの小さな半島でありながら多様な海岸植生が維持され、この豊かな海岸植生は三浦半島の植物相の大きな特色となっている。

The flora of the coastal vegetation in the Miura Peninsula was studied based on the specimens preserved in the Yokosuka City Museum and about 150 taxa were recognized. The Miura Peninsula surrounded by Tokyo Bay and Sagami Bay has variety of topography. The littoral environment of the peninsula consists of rocky shore, sandy shore, sea cliff, and tideland. These environmental backgrounds have brought about the richest littoral flora in Kanagawa Prefecture. It is characteristic of the littoral flora in the Miura Peninsula that *Juniperus taxifolia* Hook. & Arn. var. *lutchuensis* (Koidz.) Satake, *Allium schoenoprasum* var. *idzuensis* (Hara) Hara, *Suaeda maritima* (L.) Dumort., *Argusia sibirica* (L.) Boehmer, *Dendranthema pacificum* (Nakai) Kitam., *Crepidiastrum platyphyllum* (Franch. & Sav.) Kitam., *Scabiosa japonica* Miq. var. *lasiophylla* Sugim., which are distributed only in the Miura Peninsula in Kanagawa Prefecture, are distributed in the Boso Peninsula, the Izu Peninsula, and/or Izu Islands. *Quercus phillyraeoides* A. Gray, *Vicia japonica* A. Gray, *Hibiscus hamabo* Sieb. & Zucc. are also threatened with extinction as well as in the Boso Peninsula. *Juniperus conferta* Parlatore, *Zannichellia palustris* L. var. *indica* (Cham.) Graebn., *Tribulus terrestris* L., *Arabis stelleri* DC. var. *japonica* (A. Gray) Fr. Schm., *Euphorbia jolkini* Boiss. became extinct in the Miura Peninsula because of the destruction or the deterioration of their habitats for the past several dozens of years.

* 横須賀市自然・人文博物館 〒238-0016 神奈川県横須賀市深田台 95

** 横須賀市自然・人文博物館 気付

原稿受付 2010 年 9 月 30 日 横須賀市博物館業績 第 641 号

はじめに

三浦半島は東京・横浜の近くに位置しながら、豊かな植物相に恵まれている。神奈川県植物相は、神奈川県植物誌 1988 (神奈川県植物誌調査会・神奈川県立博物館編, 1988), 同 2001 (神奈川県植物誌調査会編, 2001) によって植物目録と同時に、分布状況や地域的特性などが明らかになり、三浦半島が山地性植物と海岸植物に大きな特色があることがより一層浮き彫りになった。また、植生調査 ((財)国際生態学センター編, 2001) によっても、横須賀の植生の特徴が照葉樹林、暖温帯性の落葉広葉樹林と並んで、海岸植物の豊かさにあることが強調されている。同時に房総半島 ((財)千葉県史料研究財団編, 2003) と伊豆半島 (近田ほか, 2006) や伊豆諸島 (Ohba and Akiyama, 2002) の植物相調査・研究が進展したことで、南関東地域の植物相、とくに海岸植物相の特色やその起源の解明 (大場, 1975; 1983) がさらに進展することと思われる。

ここでは、神奈川県植物誌調査会が収集した標本とこれまで蓄積された横須賀市博物館収蔵資料のうち、海岸植物だけでなく、海岸に見られる草生植物や林縁の植物も含めた標本資料を、最近の知見に基づいて同定して再整理し、三浦半島の海岸植物相の特色を解明することに努めた。

引用標本は、分布地域が限定的で、個体数が少ない種と判断される場合、主要な標本の記録を記し、三浦半島沿岸に広く分布し、個体数が多い場合は省略した。また、最近の調査で得られた三浦半島内での分布や生育の状況を記した。

なお、分類群の配列は、大場 (2009) 及び APGIII (2009), Chase and Reveal (2009), Haston *et al.* (2009) によった。また、引用標本の順序はおよそ北から南へ市町ごとに並べ、カッコ内は採集年月日 (西暦年月日を 8 桁の数値で表現)、採集者名 (姓のみ)、収蔵標本庫名 (YCM-V: 横須賀市自然・人文博物館収蔵維管束植物資料, HKPM: 神奈川県生命の星・地球博物館, TI: 東京大学総合研究博物館) と登録番号を示している。

三浦半島の海岸植物・海藻と海岸草地の植物とその生育状況および形態的、生態的特徴

Equisetopsida トクサ綱
(シダ植物)

Ophioglossidae ハナヤスリ亜綱

■Ophioglossaceae ハナヤスリ科

Ophioglossum thermale Komarov ハマハナヤスリ

天神島などの海岸草地。鎌倉市: 梶原 (19980525, 杉山, YCM-V32214); 横須賀市: 佐島天神島

(20040718, 田中, YCM-V44958); 三浦市: 諸磯名向崎 (20031115, 三浦半島植物友の会, YCM-V45261)

Polypodiidae ウラボシ亜綱

■Lindsaeaceae ホングウシダ科

Sphenomeris biflora (Kaulf.) Tagawa ハマホラシノブ 県 IB 類

かつて城ヶ島, 小網代 (増島・石渡, 1950), 毘沙門海岸などで見られた。三浦市: 初声町三戸 (19740726, 西山, YCM-V45324)。現状不明。房総でも産地は富津, 館山など数か所にすぎない (千葉県レッドデータブック改定検討委員会, 2009)。

■Dryopteridaceae オシダ科

Cyrtomium falcatum (L. fil.) Presl. subsp. *falcatum* オニヤブソテツ

三浦半島の海岸には普通に見られる。

Cyrtomium falcatum (L. fil.) Presl. subsp. *littorale* ヒメオニヤブソテツ

波しぶきのかかるような海崖に見られ、三浦半島では、猿島や三浦半島南部 (三浦市小浜~宮川) (山本ほか, 1991) などで見られる。横須賀市: 長井長浜 (19990924, 中山, YCM-V34302); 三浦市: 小網代白髭神社 (19910609, 山本, YCM-V22881); 松輪剣崎 (19980714, 中山, YCM-V31918); 城ヶ島 (19890819, 西山, YCM-V33602); (19981004, 中山, YCM-V34302)

(裸子植物)

Pinidae マツ亜綱

■Pinnaceae マツ科

Pinus thunbergii Parlature クロマツ

明治期には、海岸だけでなく丘陵地にも広く分布していたが (山田ほか, 1997), 三浦半島でも激減。

■Cupressaceae ヒノキ科

Juniperus chinensis L. ビャクシン 県 IA 類

森戸海岸のみ。

Juniperus conferta Parlature ハイネズ 県絶滅

かつては城ヶ島, 松輪, 久里浜 (増島・石渡, 1950), 野比海岸, 黒崎 (石渡, 1984) などでも見られた。横須賀市: 野比海岸 (19531012, 田中, YCM-V11012); 三浦市: 毘沙門 (19631121, 大場, HKPM)

Juniperus taxifolia Hook. & Arn. var. *lutchuensis* (Koidz.) Satake オキナワハイネズ (オオシマハイネズ) 県 IA 類

城ヶ島東部に分布。三浦市: 城ヶ島 (19830125, 鈴木, YCM-V4707); (19831110, 大森, YCM-V1910)

(被子植物)

Magnoliidae モクレン亜綱

Magnolianaes モクレン上目

Laurales クスノキ目

■Lauraceae クスノキ科

Cinnamomum japonicum Sieb. ex Nakai ヤブニツケイ
海岸林の主要な構成種で、三浦半島にも多い。

Piperales コショウ目

■Piperaceae コショウ科

Piper kadsura (Choir.) Ohwi フウトウカズラ
三浦半島には海岸から内陸まで広く分布している。

Lilianaes ユリ上目

Alismatales オモダカ目

■Hydrocharitaceae トチカガミ科

Halophila nipponica J. Kuo (=? *H. japonica* Uchimura & Faye) ヤマトウミヒルモ 国準, 県 IB 類

小田和湾, 城ヶ島, 森戸海岸沖などで見られる。最近ウミヒルモ *H. ovalis* から区別され, 新種として記載された (Kuo *et al.*, 2006; Uchimura *et al.* 2006)。横須賀市: 佐島天神島 (19941210, 萩原, YCM-V45322); 三浦市: 小網代元荒井, 油壺湾 (18990719, Yabe, TI); 城ヶ島北岸 (19890824, 大森・林, YCM-V13635)

■Zosteraceae アマモ科

Phyllospadix japonicus Makino エピアマモ 国準, 県 IA 類

かつては金沢, 久里浜, 三崎, 城ヶ島にも分布 (松野編, 1933)。現在神奈川県内では鎌倉七里ヶ浜のみ。相模: 片瀬 (19380501, 久内, TI); 鎌倉市: 稲村ヶ崎 (19870727, 大場, YCM-V21347); 七里ヶ浜 (19900412, 大森, YCM-V21346); (19960321, 大森, YCM-V45321); (20060418, 大森, YCM-V44065-65); 三浦市: 城ヶ島 (19500530, 古沢, TI)

Zostera caulescens Miki タチアマモ 国 II 類, 県 IB 類
横須賀市西部ではタカモと呼ばれ, 三浦半島沿岸では高さ 6 m ほどになる。小田和湾, 小網代湾, 猿島, 観音崎, 三浦海岸などに分布し, 砂底, 水深 3-10m に生育。

Zostera japonica Aschers. & Graebn. コアマモ 県 IB 類
三浦半島西部の小田和湾, 三浦半島南部の江奈湾などの干潟に群生。東京湾側ではほとんど見られなくなった。鎌倉市: 材木座 (19841017, 大森, YCM-V27875); 横須賀市: 小田和湾 (19850823, 寺脇, YCM-V27873); 三浦市: 上宮田三浦海岸 (19860500, 鈴木, YCM-V11032)

Zostera marina L. アマモ

三浦半島ではアジモと呼ばれ, 東京湾側, 相模湾側ともに広く分布しているが, 減少傾向にあるため, 葉山町や金沢区, 横須賀市北部などでは移植なども行われている。

■Potamogetonaceae ヒルムシロ科

Zannichellia palustris L. var. *indica* (Cham.) Graebn. イトクズモ 国 II 類, 県絶滅

千葉県でも絶滅(千葉県レッドデータ改訂委員会編, 2009)。三浦市: 江奈湾 (19680421, 小板橋, YCM-V7767)

Liliales ユリ目

■Nartheciaceae ノギラン科

Alettris spicata (Thunb.) Franch. ソクシンラン 県 IA 類
三浦市: 三戸 (19820526, 三浦の自然を学ぶ会, YCM-V1408)

■Smilacaceae シオデ科

Smilax china L. サルトリイバラ
海岸林の林縁に普通。

■Liliaceae ユリ科

Lilium maculatum Thunb. var. *maculatum* スカシユリ
鎌倉市七里ヶ浜, 葉山町下山口, 横須賀市天神島, 走水, 三浦市間口, 城ヶ島などに分布。

■Orchidaceae ラン科

Epipactis papillosa Franch. & Sav. var. *sayekiana* T. Koyama & Asai ハマカキラン 県 II 類
三浦半島では鎌倉に分布。

■Xanthorrhoeaceae ススキノキ科

Hemerocallis fulva L. var. *littorea* (Makino) M. Hotta ハマカンゾウ

海岸砂浜などに広く分布。逗子市新宿, 横須賀市天神島, 長浜, 野比, 千駄ヶ崎, 三浦市金田, 雨崎などに分布。

■Amaryllidaceae ヒガンバナ科

Allium schoenoprasum var. *idzuensis* (Hara) Hara イズアサツキ 県 IA 類

三浦半島南端の海崖に見られる。三浦市: 大乗海岸 (19610604, 大谷, YCM-V1428, 36080); 毘沙門 (19800605, 鈴木, YCM-V6108)

Allium thunbergii G. Don ヤマラッキョウ

伊豆半島では, ヤマラッキョウに類似したハマラッキョウ (Konta *et al.*, 2005) が記録されている。三浦市黒崎でハマラッキョウが報告 (高橋・堀川, 2007) されているが, 三浦半島ではヤマラッキョウが海岸と内陸の草地に見られ, 区別は困難である。逗子市ニ子山, 横須賀市長浜, 田浦温泉谷戸, 安針塚, 平作, 小矢部, 久里浜, 長沢, 三浦市黒崎, 諸磯などで見られる。

Crinum asiaticum var. *japonicum* Baker ハマオモト 県 IA 類

横須賀市猿島, 観音崎, 三浦市上宮田, 城ヶ島。

Narcissus tazetta L. var. *chinensis* Roemer スイセン

■Asparagaceae キジカクシ科

Asparagus cochinchinensis (Lour.) Merrill クサスギカズラ

海岸林の林縁に広く見られる。鎌倉市稲村ヶ崎, 横須賀市秋谷, 天神島, 荒崎, 浦上台, 長沢, 三浦市三崎口, 松輪, 江奈湾, 大乗, 城ヶ島など。

Liriope minor (Maxim.) Makino ヒメヤブラン

海岸と内陸の草地に見られる。横浜市金沢区釜利谷, 鎌倉市半僧坊, 逗子市神武寺, 横須賀市鷹取山, 観音崎, 三浦市: 城ヶ島など。

Poales イネ目

■Cyperaceae カヤツリグサ科

Carex fibrillosa Franchet & Savat. ハマアオスゲ

三浦半島沿岸に多いが、内陸にも見られる。横須賀市観音崎、野比など。

Carex kobomugi Ohwi コウボウムギ

鎌倉市七里ヶ浜、葉山町長者ヶ崎、横須賀市長井、長浜、三浦市金田など。横須賀市観音崎(大谷, 1955)。

Carex lenta D. Don var. *sendaica* (Franchet) T. Koyama センダイスゲ 県II類

鎌倉市材木座、三浦市黒崎の草地に分布。鎌倉市：材木座(19980309, 中山, YCM-V42743); (19980513, 中山, YCM-V31973)

Carex leucochloa var. *meridiana* イソアオスゲ

三浦半島の海岸近くのアオスゲの多くは本種(勝山, 1990)。葉山町一色、横須賀市観音崎、長井、野比、三浦市城ヶ島など。

Carex oahuensis C. A. May. var. *robusta* Franchet & Savat. ヒゲスゲ

海岸に多いが、武山の山腹にも分布。葉山、佐島、荒崎、猿島、観音崎、野比、城ヶ島など。

Carex pumila Thunb. コウボウシバ

湿地に生えると、葉も花茎も長くなり、シオクグと類似する。鎌倉市七里ヶ浜、逗子市新宿、横須賀市天神島、長井、野比、三浦市松輪、間口、江奈、毘沙門、宮川、引橋、城ヶ島など。

Carex scabrifolia Steud. シオクグ 県準

塩性湿地に見られる。横須賀市：久里浜(19540520, 田中, YCM-V11209); 三浦市：江奈湾(19810522, 鈴木, YCM-V5814); (19830527, 大森・鈴木・田中, YCM-V1893)

Cladium chinense Nees ヒトモトススキ

県内では三浦半島と江ノ島に分布し、天神島、毘沙門海岸など生育地は限られている。横須賀市：天神島(19540809, 千葉, YCM-V 21995); 野比(19520810, 石渡, YCM-V 21997; 19730808, 山内, YCM-V 11302; 19791117, 西山, YCM-V 5828; 19880629, 菅原・大森, YCM-V 11301) 三浦市：剣崎(19801109, 浜中, YCM-V 5830); 小網代(19600918, 大谷, YCM-V 11303); 諸磯(19830812, 鈴木, YCM-V 5829)

Cyperus rotundus L. ハマスゲ

内陸、海岸の草地に多い。

Fimbristylis dichotoma (L.) Vahl var. *floribunda* (Miq.) T. Koyama クグテンツキ

三浦市：黒崎の鼻(19991105, 西山, YCM-V32809; 20040913, 鈴木, YCM-V42365); 諸磯黒鯛込(20000806, 三浦半島植物友の会, YCM-V35278); 城ヶ島(19981004, 不詳, YCM-V42773)

Fimbristylis ferruginea (L.) Vahl var. *sieboldii* (Miq.) Ohwi イソヤマテンツキ

磯に普通。

Fimbristylis longispica Steud. ナガボテンツキ 県IA類
三浦市：毘沙門尾楚ヶ浜(19860810, 鈴木, YCM-V33924)

Fimbristylis ovata (Burm. fil.) Kern ヤリテンツキ 県IA類

三浦半島には現存するが、房総半島では消息不明・絶滅種と判断された(千葉県レッドデータブック改訂委員会編, 2009)。三浦市：黒崎の鼻(19971107, 三浦半島植物友の会, YCM-V34692)

Fimbristylis sericea (Poir.) R. Br. ビロードテンツキ 県IB類

横須賀市：野比(19850829, 山内, YCM-V5956)

Fimbristylis subbispicata Nees & Meyen ヤマイ

海岸と内陸草地に分布。横須賀市秋谷、天神島、阿部倉、野比、三浦市黒崎、引橋、松輪、毘沙門、城ヶ島など。

Bolboschoenus maritimus (L.) Palla コウキヤガラ

海岸湿地に分布。鎌倉市材木座飯島海岸、横須賀市秋谷、追浜、久里浜、野比、三浦市大乘、宮川。

Bolboschoenus planiculmis (F. Schmidt) T. V. Egorova イセウキヤガラ 県IB類

海岸湿地に分布。宮川湾。毘沙門湾～宮川湾(小崎, 1990)。三浦市：宮川湾(19830527, 大森・鈴木・田中, YCM-V1915); (19970702, 三浦半島植物調査会, YCM-V35022)

■Poaceae イネ科

Arundo donax L. ダンチク

横須賀市津久井や三浦市松輪などに分布。横須賀市：津久井(19891002, 西山, YCM-V31652)

Phragmites australis (Cav. ex Roem. St Schult.) Trin. ex Steud. ヨシ

内陸、海岸の湿地に普通。

Cymbopogon tortilis (Presl) Hitchc. var. *goering* (Steud.) Hand.-Mazz. オガルカヤ

三浦半島では海岸草地に見られる。

Cynodon dactylon (L.) Pres. ギョウギシバ

砂浜。

Ischaemum antheophoroides (Steud.) Miq. ケカモノハシ

砂浜。横須賀市：観音崎(19480722, 増島, YCM-V21574)

Ischaemum aristatum L. var. *glaucom* (Honda) T. Koyama カモノハシ

砂浜。逗子市：披露山下(19520724, 千葉, YCM-V21567); 三浦市：宮川湾(20001124, 中山, YCM-V41479); 浜諸磯(20000806, 三浦半島植物友の会, YCM-V35257, 35258, 35383)

Elymus mollis Trin. ハマニンニク(テンキグサ)

剣崎の海岸岩棚に群生していたが、現在見られない。逸出の可能性が高いと判断された(高桑ほか, 2006)。

Miscanthus condensatus Hack. ハチジョウススキ

磯や海崖に普通。逗子市：披露山，葉山町：下山口，横須賀市：猿島，観音崎，野比，秋谷，三浦市：剣崎，城ヶ島など。

Phacelurus latifolius (Steud.) Ohwi アイアシ 県II類

塩性湿地に群生。横須賀市：天神島（19820618，大森，YCM-V1416），三浦市：諸磯（19940718，西山，YCM-V 33291；20000806，三浦半島植物友の会，YCM-V 35260；20080611，三浦半島植物友の会，YCM-V45097）；毘沙門（19970702，神奈川県植物誌調査会，YCM-V32463）

Pleioblastus chino (Franch. & Sav.) Makino アズマネザサ
海岸崖地などに普通に群生する。

Polypogon monspeliensis (L.) Desf. ハマヒエガエリ

県内では海岸だけでなく，内陸にも見られる。少ない。横須賀市：平成町（19990521，西山，YCM-V33008）
Saccharum spontaneum L. var. *arenicola* (Ohwi) Ohwi ワセオバナ

横須賀市：野比（19810831，西山，YCM-V 5481；19830907，西山，YCM-V 5480；19831016，浜中，YCM-V 5479；19940822，鈴木，YCM-V31777）；三浦市：初声町赤谷（19871020，西山，YCM-V11474）

Setaria viridis (L.) Beauv. var. *pachystachys* (Franch. & Sav.) Makino & Nemoto ハマエノコロ

磯に普通。ムラサキハマエノコロも同様。

Zoysia japonica Steud. シバ

砂浜に普通。

Zoysia macrostachya Franch. & Sav. オニシバ 県II類

砂浜。三浦市：金田（20070623，三浦半島植物友の会，YCM-V44741）

Zoysia sinica Hance var. *nipponica* Ohwi ナガミノオニシバ 県IA類

砂浜。横須賀市：秋谷（19830612，石渡，YCM-V5632）；天神島（19710621，西山，YCM-V50460）；笠島（19820605，大森，YCM-V1424）；三浦市：黒崎（19830623，大森，YCM-V5632）；金田（20070623，三浦半島植物友の会，YCM-V44742）；間口（19830612，浜中，YCM-V5633）

Ranunculanae キンポウゲ上目

Ranunculales キンポウゲ目

■Papaveraceae ケシ科

Corydalis heterocarpa Sieb. & Zucc. var. *japonica* (Franch. & Sav.) Ohwi キケマン

ハマキケマンの名がある（大谷，1955）。海岸に広く分布。

（所属目不明群）

■Daphniphyllaceae ユズリハ科

Daphniphyllum teijsmannii Zoll. ex Kurz ヒメユズリハ

海岸林の主要構成種。

■Crassulaceae ベンケイソウ科

Sedum aizoon L. var. *floribundum* Nakai キリンソウ

三浦半島では，諸磯などの海岸草地と内陸の草地にまれ。横須賀市：秋谷（20080610，三浦半島植物友の会，YCM-V33912-15）

Sedum oryzifolium Makino タイトゴメ

三浦半島の磯に普通。

■Haloragaceae アリノトウグサ科

Haloragis micrantha (Thunb.) R. Br. アリノトウグサ

三浦半島では海岸草地にのみ見られる。三浦市：黒崎（19991110，西山，YCM-V32906）

Rosanae バラ上目

Vitales ブドウ目

■Vitaceae ブドウ科

Ampelopsis brevipedunculata (Maxim.) Trautv. var. *glabrifolia* Honda テリハノブドウ

葉が無毛のもので，海岸に多い。

Zygophyllales ハマビシ目

■Zygophyllaceae ハマビシ科

Tribulus terrestris L. ハマビシ 国IB類，県絶滅

1953年ごろまで平作川河口に分布。横須賀市：久里浜（1906年，牧野，TI）；（1916年，牧野，TI）；（19161015，久内，TI）；（1922年，牧野，TI）；（19270304，靱山，TI）；（19530902，大谷，YCM-V12461，33603）

Fabales マメ目

■Fabaceae マメ科

Canavalia lineata (Thunb.) DC. ハマナタマメ 県IA類

毘沙門海岸。伊豆半島南東部，須崎半島では海岸に普通（近田ほか，2006）だが，三浦半島では1950年ごろに発見された（赤星，1951）。三浦市：毘沙門（19610604，不詳，YCM-V12237-39）；（19660926，小板橋，YCM-V1233）；（19671013，小板橋，YCM-V11813）；（19790715，鈴木，YCM-V11940）；（20071020，三浦半島植物友の会，YCM-V45144-15）

Lathyrus japonicus Willd. subsp. *japonicus* ハマエンドウ

海岸砂浜に見られる。横須賀市佐島，天神島，荒崎，三浦市毘沙門尾楚ヶ浜，引橋，城ヶ島など。

Lotus corniculatus L. var. *japonicus* Regel ミヤコグサ

海岸草地に広く分布。

Vicia japonica A. Gray ヒロハクサフジ

静岡県では伊豆半島だけに分布し（近田ほか，2006），房総半島では消息不明・絶滅種（千葉県レッドデータブック改訂委員会編，2009）であるが，三浦半島では海岸に普通で，内陸でも見られることがある。生育地は葉山町一色，上山口滝の坂，横須賀市秋谷，長井，荒崎，長浜，野比，三浦市黒崎，三戸，八景原，上宮

田山ヶ谷戸, 剣崎, 松輪, 毘沙門, 三崎, 三戸, 城ヶ島など。

■**Polygalaceae** ヒメハギ科

Polygala japonica Houtt. ヒメハギ
海岸と内陸草地に見られる。

Rosales バラ目

■**Rosaceae** バラ科

Potentilla nipponica Th. Wolf ヒロハノカワラサイコ 県IB類

黒崎海岸草地(大谷, 1977)。横須賀市:池上(19520801, 小板橋, YCM-V10880);三浦市:初声(19830623, 鈴木, YCM-V10856);黒崎(19840621, 大森・鈴木・田中, YCM-V2726, 2727);城ヶ島大橋入口(19840621, 大森, YCM-V2724, 2725, 2728)

Rhaphiolepis indica (L.) Lindl. ex Ker var. *umbellata* (Thunb. ex Murry) Ohashi シャリンバイ

磯, 海岸草地に広く分布。葉の広いものをマルバシヤリンバイという。

Rosa wichuraiana Crépín テリハノイバラ
磯に広く分布。

Rubus trifidus Thunb. カジイチゴ
海岸林に見られる。

■**Elaeagnaceae** グミ科

Elaeagnus macrophylla オオバグミ

別名マルバグミ。海岸林の林縁や磯に広く分布。

Elaeagnus umbellata Thunb. var. *rotundifolia* Makino マルバアキグミ

アキグミの海岸型(近田ほか, 2006)。

■**Urticaceae** イラクサ科

Boehmeria arenicola Satake ハマヤブマオ
海岸林の林縁に見られる。

Boehmeria biloba Wedd. ラセイタソウ
磯の岩上などに広く見られる。

Boehmeria longispica Steud. var. *dura* Satake カタバヤブマオ

海岸林の林縁などに見られる。

Fagales ブナ目

■**Fagaceae** ブナ科

Quercus phillyraeoides A. Gray ウバメガシ 県IA類

これまで, 自生地として, 城ヶ島赤羽根海岸(大谷, 1967; 鈴木ほか, 1984)があげられているが, 横須賀市御幸浜, 武山教育隊内崖地でも群生地が発見され, 記録された(原ほか, 2004)。同所は本種の北限地。横須賀市:岩崎山(19661011, 大谷, YCM-V3698)

Celastrales ニシキギ目

■**Celastraceae** ニシキギ科

Euonymus japonicus Thunb. var. *radicifer* Nakai ツルオオ

バマサキ

海岸林の林縁などに普通に見られる。

Malpighiales キントラノオ目

■**Euphorbiaceae** トウダイグサ科

Euphorbia jolkinii Boiss. イワタイゲキ 県IA類

1968年ごろまで毘沙門海岸に分布。三浦半島では絶滅。伊豆半島須崎の海岸には多い(近田ほか, 2006)。三浦市:毘沙門(19680530, 不詳, YCM-V35457)

Euphorbia lasiocaula Boiss. var. *maritime* (Hurus.) S. Matsumoto & Konta ハマタカトウダイ

タカトウダイの海岸型。海岸草地に見られる。

■**Violaceae** スミレ科

Viola mandshurica W. Becker var. *triangularis* Mizushima アツバスミレ

スミレの海岸型。海岸草地に見られる。三浦市黒崎の鼻, 城ヶ島など。

■**Hypericaceae** オトギリソウ科

Hypericum erectum Thunb. オトギリソウ

海岸草地に生える型はハマオトギリと呼ばれる。横須賀市:長浜(19990924, 中山, YCM-V34307);三浦市:黒崎(19931011, 石渡, YCM-V44544);三戸(19931004, 石渡, YCM-V44553)

Crossosomatales クロソソマ目

■**Stacyururaceae** キブシ科

Stachyurus praecox Sieb. & Zucc. var. *matsuzakii* (Nakai) Makino ハチジョウキブシ

キブシとハチジョウキブシの中間型をエノシマキブシという。三浦半島沿岸の林縁に広く分布。

Malvales アオイ目

■**Malvaceae** アオイ科

Hibiscus hamabo Sieb. & Zucc. ハマボウ 県IA類

西南日本では河口に群生。三浦半島では1935年に佐藤達夫氏により天神島で採集され(佐藤, 1970), 島内に数株が生育している(大森, 1985)。毘沙門(石渡, 1984)。最近多摩川の河口付近(河濟, 2004)や東京湾岸(千葉県レッドデータブック改定検討委員会, 2009)でも発見され, 自生とみなされている。

■**Thymelaeaceae** ジンチョウゲ科

Diplomorpha ganpi (Sieb. & Zucc.) Nakai コガンビ

海岸と内陸の草地に見られる。

Brassicales アブラナ目

■**Brassicaceae** アブラナ科

Arabis stelleri DC. var. *japonica* (A. Gray) Fr. Schm. ハマハタザオ 県絶滅

久里浜・下浦・三崎(増島・石渡, 1950), 観音崎(大谷, 1955)の記録がある。鎌倉市:七里ヶ浜(19290421,

靱山, TI); 七里ヶ浜駅裏 (19600605, 間瀬, YCM-V9963); 横須賀市: 千駄ヶ崎 (19290505, 靱山, TI)

Raphanus sativus L. var. *raphanistroides* Makino ハマダイコン

三浦半島の海岸砂浜に普通。

Caryophyllanae ナデシコ上目

Caryophyllales ナデシコ科

■**Polygonaceae** タデ科

Persicaria chinensis (L.) Nakai ツルソバ砂浜。

■**Caryophyllaceae** ナデシコ科

Dianthus japonicus Thunb. ハマナデシコ磯に見られる。

Sagina maxima A. Gray ハマツメクサ磯に見られる。

Spergularia bocconii (Scheele) Asch. & Graebn. ウシオハナツメクサ

塩湿地に見られる。天神島など。このほか、ウシオツメクサ (観音崎・松輪・城ヶ島: 増島・石渡, 1950) の記録があるが、現在見られない。

■**Amaranthaceae** ヒコ科 (Chenopodiaceae アカザ科を含む)

Atriplex gmelinii C. A. Meyer ホソバハマアカザ

塩湿地に見られる。観音崎 (大谷, 1955)。横須賀市天神島, 三浦市毘沙門, 城ヶ島など。

Atriplex prostrata Boucher ex DC. ホコガタアカザ

ヨーロッパ原産の帰化植物。塩湿地に見られる。このほかハマアカザ (県絶滅) の記録があるが、現在は見られない。

Chenopodium glaucum L. ウラジロアカザ

塩湿地に見られる。

Salsola komarovii Iljin オカヒジキ

砂浜に見られる。

Suaeda maritima (L.) Dumort. ハママツナ 県IB類

塩沼地に見られる。横須賀市: 佐島 (19800622, 浜中, YCM-V8885); 天神島 (19821107, 大森, YCM-V1334); 笠島 (19820605, 大森, YCM-V1331, 1332); 三浦市: 江奈 (19690917, 間瀬, YCM-V23952); 毘沙門 (19831105, 大森, YCM-V1926); 尾楚 (19661022, 大谷, YCM-V8840)

■**Aizoaceae** ハマミズナ科

Tetragonia tetragonoides (Pall.) O. Kuntze ツルナ

砂浜に普通に見られる。

Asteranae キク上目

Cornales ミズキ目

■**Hydrangeaceae** アジサイ科

Hydrangea macrophylla (Thunb. ex Murray) Ser. form.

Normalis (Wilson) Hara ガクアジサイ

三浦市剣崎, 城ヶ島などでは自生と思われる個体が見られる。

Ericales ツツジ目

■**Primulaceae** サクラソウ科

Lysimachia mauritiana Lam. ハマボッス磯に普通に見られる。

Gentianales リンドウ目

■**Rubiaceae** アカネ科

Hedyotis strigulosa Bartl. var. *coreana* (Lévl.) Yamaz. ソナレムグラ

磯の岩上などに見られる。剣崎, 城ヶ島など。

Paederia scandens (Lour.) Merrill var. *maritima* (Koidz.) H. Hara ハマサオトメカズラ
ヘクソカズラの海岸型。

■**Gentianaceae** リンドウ科

Gentiana squarrosa Ledb. コケリンドウ

観音崎 (大谷, 1955) など, 三浦半島では海岸草地に見られる。

Swertia japonica (Schult.) Makino センブリ

三浦半島では海岸草地に見られる。観音崎 (大谷, 1955) など。

Swertia pseudochinensis Hara ムラサキセンブリ 国II類, 県IA類

黒崎海岸の草地に見られる。三浦市: 黒崎 (19891111, 大森・林, YCM-V2265); (20041204, 鈴木, YCM-V42368)

■**Apocynaceae** キョウチクトウ科 (Asclepiadaceae ガイモ科を含む)

Cynanchum japonicum Morr. & Decne. イヨカズラ

海岸草地に見られる。笠島, 猿島, 城ヶ島など。

(所属目不明群)

■**Boraginaceae** ムラサキ科

Argusia sibirica (L.) Boehmer スナビキソウ 県IA類

砂浜に見られる。毘沙門 (増島・石渡, 1950) の記録がある。三浦市: 毘沙門 (19640619, 高橋, HKPM-19436, 19484); (19660714, 大場, HKPM-17758); 雨崎~大浦海岸 (20070623, 三浦半島植物友の会, YCM-V44745)

Solanales ナス目

■**Convolvulaceae** ヒルガオ科

Calystegia soldanella (L.) Roem. & Schult. ハマヒルガオ

Cuscuta pentagona Engelm. アメリカネナシカズラ

ハマゴウなどに寄生。三戸, 城ヶ島など。

Ipomoea pes-caprae (L.) Sweet グンバイヒルガオ

相模湾側の砂浜で時に見られるが, 三浦半島では冬

は越せず繁殖できない。城ヶ島（増島・石渡，1950）の記録がある。

■**Solanaceae** ナス科

Lycium chinense Miller クコ
海岸でよく見られる。

Lamiales シソ目

■**Oleaceae** モクセイ科

Ligustrum ovalifolium Hassk. var. *ovalifolium* オオバイボタ

海岸林の林縁に多い。

■**Plantaginaceae** オオバコ科

Linaria japonica Miq. ウンラン 県 IA 類
三浦市初声で記録された。

Plantago major L. var. *japonica* (Franch. & Sav.) Miyabe
トオオバコ

海岸岩棚の窪地や砂浜など。

■**Lamiaceae** シソ科 (*Callicarpa* ムラサキシキブ属,
Clerodendrum クサギ属を含む)

Callicarpa japonica Thunb. var. *luxurians* Rehder オオムラサキシキブ

ムラサキシキブの海岸型で，葉が大きく厚く，やや光沢があるもの。

Clerodendrum trichotomum Thunb. var. *izuinsulae* (K. Inoue & al.) H. Ohba & S. Akiyama シマクサギ 県 IB 類

伊豆諸島・伊豆半島・三浦半島南部に分布する。三浦市：諸磯（19940731，西山，YCM-V33247）；諸磯浜ノ原（20000806，三浦半島植物友の会，YCM-V35269）；浜諸磯（20041019，鈴木，YCM-V42371）；（20041023，鈴木，YCM-V42369）；尾上町（20041019，鈴木，YCM-V42370）；城ヶ島一本松（20000912，中山・城川・高橋，YCM-V35301，35303，35305）；城ヶ島遊ヶ崎（20000916，中山，YCM-V35524）；城ヶ島水垂れ（20000906，鈴木，YCM-V42391）

Vitex rotundifolia L. fil. ハマゴウ

砂浜に見られる。葉山，天神島，野比，剣崎，毘沙門，黒崎，三戸，城ヶ島など。

■**Orobanchaceae** ハマウツボ科

Siphonostegia chinensis Benth. ヒキヨモギ

■**Verbenaceae** クマツヅラ科

Phyla nodiflora (L.) L. C. Richard ex Michx. イワダレソウ

観音崎，野比，城ヶ島など。

Asterales キク目

■**Campanulaceae** キキョウ科

Adenophora triphylla (Thunb. ex Murray) A. DC. var. *glabra* (Makino) S. Matsumoto & Konta ハマシャジン 県 IB 類

ツリガネニンジンの海岸型。三浦市：剣崎（19810909，大森，YCM-V2134）

■**Asteraceae** キク科

Achillea alpina L. subsp. *alpina* var. *alpina* ノコギリソウ 県 IB 類

海岸草地でまれに見られる。観音崎（大谷，1955）の記録がある。三浦市：浜諸磯（19821116，鈴木，YCM-V1575）

Artemisia japonica subsp. *japonica* var. *japonica* オトコヨモギ

オトコヨモギの海岸型はソナレオトコヨモギといわれる。観音崎（大谷，1955）など。

Artemisia indica Willd. var. *momyamae* (Kitam.) Hara ユキヨモギ 国 IA 類，県 IB 類

鎌倉市：長谷（20051216，中山，YCM-V44241-43）；三浦市：宮川（19920500，鈴木，YCM-V28587）

ユキヨモギとヨモギの雑種をイナムラヨモギという。

Aster ovatus (Franch. & Sav.) Mot. Ito & Soejima var. *ovatus* ノコンギク

海岸には葉の厚いノコンギクが見られ，ハマコンギクといわれる。葉山町：下山口（20041204，三浦半島植物友の会，YCM-V42567-68）；横須賀市：猿島（20011130，中山，YCM-V41922）；小矢部（19841113，浜中，YCM-V16320）；観音崎（19831202，山内，YCM-V16322）；浦賀（19831101，浜中，YCM-V16323）；小矢部（19841113，浜中，YCM-V16320）；津久井（20061021，三浦半島植物友の会，YCM-V44713）；三浦市：松輪（20061102，大森，YCM-V44712）；黒崎（19841026，大森，YCM-V27688）；城ヶ島（19841113，浜中，YCM-V16319）

Aster tripolium L. ウラギク 国 II 類，県 II 類

河口などに群生。横須賀市：久里浜八幡川（19581101，大谷，YCM-V921）；（19591016，不詳，YCM-V922）；

（19591025，不詳，YCM-V923）；（19621024，不詳，YCM-V924）；（19661020，不詳，YCM-V27747，27749）

Cirsium maritimum Makino ハマアザミ 県 IA 類

三浦半島は分布の北限。横須賀市：荒崎（19851020，浜中，YCM-V16460）；長浜（19861004，山内，YCM-V16459）

Cirsium nipponicum (Maxim.) Makino var. *comosum* (Franch. & Sav.) Kitam. イガアザミ

トネアザミの海岸型で，頭花が大きく，かたまってつく。葉山町仙元山，横須賀市秋谷，走水，佐原，野比，三浦市黒崎，毘沙門，剣崎，城ヶ島など。

Crepidiastrum platyphyllum (Franch. & Sav.) Kitam. ワダン

県内では三浦半島南部だけに分布。ほかには房総半島と伊豆諸島のみ。房総半島と伊豆半島の個体群の一部は絶滅（Kokubugata and Saito, 2006）。横須賀市：久里浜（19830622，浜中，YCM-V16509）；荒崎（19601005，

斉藤, YCM-V 1098; 19820613, 石渡, YCM-V16510; 19830619, 石渡, YCM-V 16511); 荒崎~長浜 (19820526, 大森, YCM-V1401); 三浦市: 黒崎の鼻 (19790920, 鈴木, YCM-V16507); 三戸 (19830821, 鈴木, YCM-V 16508); 松輪 (19810909, 大森, YCM-V2137,25834); 剣崎 (19660926, 小板橋, YCM-V45318)

Crepidastum x nakaii H. Ohashi & K. Ohashi ヤクシワダン

ワダンとヤクシワダンの雑種 (Makino, 1917; 大森, 1992; Ohashi & Ohashi, 2007)。横須賀市: 長浜 (19911102, 大森, YCM-V20256); 三浦市: 毘沙門湾 (20001124, 中山, YCM-V35752, 35753); 六合宮川湾 (20001124, 西山・山田・中山, YCM-V 41476)

Dendranthema pacificum (Nakai) Kitam. イソギク

鎌倉市七里ヶ浜, 稲村ヶ崎, 逗子市新宿, 横須賀市猿島, 観音崎たたら浜, 久里浜, 千駄ヶ崎, 野比, 佐島, 三浦市黒崎, 雨崎, 剣崎, 六合宮川湾, 城ヶ島。頭花に舌状花が混じり, イソギクと家菊の雑種と推定されている品種 *Dendranthema pacificum* (Nakai) Kitam. f. *radiatum* (Makino) Kitam. ハナイソギクがあり, 舌状花が白色のハナイソギク, 黄色のウラジロギクまたはサトイソギクと区別される。ハナイソギク, 鎌倉市: 七里ヶ浜 (19661110, 不詳, YCM-V27744, 27746); 稲村ヶ崎 (19991213, 小久保, YCM-V34602, 34603); 横須賀市: 大楠海岸 (19591225, 不詳, YCM-V277412); 佐島 (19811213, 林, YCM-V2281); 深田台 (19811100, 鈴木, YCM-V2317), サトイソギク, 鎌倉市: 稲村ヶ崎 (19781111, 西山, YCM-V51524); 三浦市: 江奈湾 (19831105, 大森, YCM-V1931); 六合宮川湾 (20001124, 西山・山田・中山, YCM-V41475); 城ヶ島 (19831110, 大森, YCM-V1923)

Eupatorium lindleyanum DC. var. *yasushii* Tuyama ハマサワヒヨドリ 県 IA 類

サワヒヨドリの海岸型。三浦市: 黒崎 (19830930, 大森, YCM-V33789); (19931004, 石渡, YCM-V44545)

Farfugium japonicum (L.) Kitam. var. *japonicum* ツブキ
三浦半島では海岸から内陸まで広く分布。

Ixeris repens (L.) A. Gray ハマニガナ 県 II 類
三浦市金田, 三戸。

Picris hieracioides L. subsp. *japonica* Kitam. ハマコウゾリナ

コウゾリナの海岸型。横須賀市: 芦名 (19831206, 山内, YCM-V12228); 荒崎 (19601005, 斉藤, YCM-V 27421); 千駄ヶ崎 (19960831, 西山, YCM-V44496); 野比 (19850821, 西山, YCM-V12230); 三浦市: 黒崎 (19830930, 鈴木, YCM-V12229); 黒崎の鼻 (19831205, 山内, YCM-V12227); 剣崎 (19801109, 浜中, YCM-V 12231)

Solidago virgaurea L. subsp. *asiatica* Kitam. ex Hara var. *asiatica* アキノキリンソウ 県 IA 類

アキノキリンソウの海岸型をハマアキノキリンソウという。三浦市: 黒崎 (19811017, 大森, YCM-V 2238) *Sonchus brachyotus* DC. ハチジョウナ

産地は限定的だが, 個体数が多い。横須賀市天神島, 長浦港, 観音崎, 長沢, 三浦市黒崎など。
Wedelia prostrate Hemsl. var. *prostrata* ハマグルマ (ネコノシタ)

横須賀市: 佐島 (19800622, 浜中, YCM-V156992), 天神島 (19520802, 不詳, YCM-V27736; 19810827, 大森, YCM-V2081), 荒崎 (19830619, 石渡, YCM-V16993), 野比 (19830824, 西山, YCM-V16994), 三浦市: 黒崎 (19830907, 清水, YCM-V39256,57), 黒崎の鼻 (19790920, 鈴木, YCM-V16995), 城ヶ島 (19830728, 鈴木, YCM-V16996)

Xanthium strumarium L. オナモミ 県 IB 類

三浦半島では海岸草地に見られる。史前帰化植物で, 全国的に減少。天神島, 城ヶ島。

Dipsacales マツムシソウ目

■Caprifoliaceae スイカズラ科 (Dipsacaceae マツムシソウ科, Valerianaceae オミナエシ科を含む)

Scabiosa japonica Miq. var. *lasiophylla* Sugim. ソナレマツムシソウ (アシタカマツムシソウ) 県 IB 類

これまでマツムシソウの海岸型 (品種) とされていたが, 変種として記載されたアシタカマツムシソウ (模式標本産地: 静岡県愛鷹山) と同一種と判断され, 優先権の原則により, 学名は *S. japonica* Miq. var. *lasiophylla* Sugim. が用いられる (須山ほか, 2008)。県内の分布図も書き改められた (勝山・田中, 2009)。三浦半島内陸部の標本「(横浜市: 戸塚区上郷中島入る (19671022, 長谷川, YCM-V3124); 鎌倉市: 大船今泉不動付近 (19641010, T. Watanabe, HKPM), 及び横須賀市: 阿部倉 (19661001, 小板橋, YCM-V3125) (大森, 1988)」もソナレマツムシソウと改められる。鎌倉市: 大船 (19450919, 寺本 K, TI); 横須賀市: 荒崎 (19831208, 山内, YCM-V3128); 長井 (19830921, 石渡, YCM-V3127); 長浜 (19591031, 大谷, YCM-V790); 三浦市: 初声町黒崎の鼻 (19821023, 大森, YCM-V1438); 油壺 (19471017, 山崎, TI); 剣崎 (19671020, 小板橋, YCM-V3126)

Apiales セリ目

■Pittosporaceae トベラ科

Pittosporum tobira (Thunb. ex Murray) Aiton トベラ

三浦半島では海岸林だけでなく, 内陸にも見られる。

■Apiaceae セリ科

Angelica japonica A. Gray ハマウド

森戸海岸, 天神島に多く見られる。葉山町森戸, 横須賀市秋谷, 野比。

Angelica keiskei (Miq.) Koidz. アシタバ

鎌倉市手広, 笹目, 大町, 横須賀市秋谷, 荒崎, 池上, 猿島, 浦賀, 観音崎, 久里浜, 野比, 三浦市上宮田, 城ヶ島。

Bupleurum scorzoneraefolium Willd. var. *stenophyllum* Nakai ミシマサイコ。国II類, 県IA類

三浦半島では海岸崖地や草地に見られ, ハマミシマサイコ(仮称)とされることもある。鎌倉市:本郷(19610800, 間瀬, YCM-V45114);横須賀市:長井(19830823, 石渡, YCM-V45117);長浜(19841114, 鈴木, YCM-V445116);(19881011, 石渡, YCM-V33606);三浦市:黒崎の鼻(19791001, 鈴木, YCM-V45118);松輪江奈(19660926, 小坂橋, YCM-V45115);(19830902, 鈴木, YCM-V1934);毘沙門湾(19831105, 大森, YCM-V1935);(19871110, 大森, YCM-V45323)
Cnidium japonicum Miq. ハマゼリ

磯に見られる。横須賀市天神島, 笠島, 佐島, 長浜, 観音崎, 野比, 三浦市毘沙門, 城ヶ島。

Glehnia littoralis Fr. Schm. ex Miq. ハマボウフウ

砂浜に見られるが, 産地は限定的。葉山町:下山口(19970521, 青木, 30122), 横須賀市:鴨居(19830519, 八住, YCM-V1444), 三浦市:和田(19970530, 田村, YCM-V45036), 三戸(19670730, 小林, YCM-V14003);19820526, 大森, YCM-V1363), 金田(19830605, 鈴木, YCM-V1887), 小浜(19780624, 石渡, YCM-V14004), 剣崎(19830530, 浜中, YCM-V14005)

Peucedanum japonicum Thunb. ボタンボウフウ

磯に普通に見られる。葉山町下山口, 横須賀市笠島, 猿島, 走水, 久里浜, 野比, 三浦市小網代, 松輪, 毘沙門, 城ヶ島。変種ムラサキボタンボウフウ(Makino, 1926)がある。

Seseli libanotis subsp. *japonica* ハマイブキボウフウ 県IB類

イブキボウフウの海岸型(大森, 1986)。横須賀市長浜, 三浦市:黒崎の鼻(19971108, 神奈川県植物誌調査会三浦ブロック, YCM-V32956);諸磯;剣崎(19860724, 大森, YCM-V2870, 2871);城ヶ島(19530827, 田中, YCM-V2669)

海岸植物相の特色

三浦半島は海岸線が複雑なため多様な海岸環境がつくられ, また, 外洋性の相模湾と内湾性の東京湾という性質の異なる海に囲まれ, そこには多くの海岸植物が分布している。半島の北東部と南西部では谷が陸から海へ深く刻まれたリアス式海岸で磯や海崖となり, 南東部では平坦な砂浜が見られ, 南部は海岸段丘が発達している。砂浜, 磯, 海崖, 干潟, 海岸段丘斜面の草地といった多様な海岸環境が, 美しい海岸植物を育て, 神奈川県ではもっとも豊かな海岸植物相となっている。とりわけ, オキナワハイネズ, イズアサツ

キ, ナガミノオニシバ, ハママツナ, スナビキソウ, シマクサギ, ワダン, ヤクシワダンなどは三浦半島を代表する植物であるばかりか, 県内では三浦半島でしか見られない。多くは房総半島, 伊豆半島, 伊豆諸島などと共通種である。

三浦半島の海岸環境の特徴とおもな地域, そこに生育するおもな海岸植物

砂浜:根や地下茎が地中深く伸びるハマオモト, ハマダイコン, ハマボウフウ, ハマアザミ, ハチジョウナなど, 地中を長く横にはうナガミノオニシバ, ハマニンニク, コウボウムギ, スナビキソウ, ハマニガナなど, または地表をはって砂地を押しえて成長するツルナ, ハマエンドウ, ハマゴウ, ハマグルマなどがある。

磯や海崖:強い日差しのため高温になり, 時に波をかぶるような磯や崖地では, 水分や養分のたまりやすい岩のくぼみや割れ目, 水の浸透しやすい地層などに沿って植物が生育する。磯にはハマエノコロ, タイトゴメ, テリハノイバラ, ハマナデシコ, ハマゼリ, ハマボス, ソナレムグラ, イワダレソウ, 崖地にはヒメオニヤブソテツ, ハマカンゾウ, スカシユリ, ハマナタマメ, ハマウド, ワダン, イソギクなどがみられる。

干潟:塩性湿地の周辺には, 海中にアマモ, コアマモなどの海草, 半冠水地には, 根の発達が悪く茎や葉が多肉化したアシ, アイアシ, シオクグ, イセウキヤガラ, ホソバノハマアカザ, ハママツナ, ハマボウなどの塩生植物が生えている。三浦半島には, 小田和湾南岸, 小網代湾, 江奈湾に干潟が残されている。江奈湾ではかつてイトクズモが採集された。

海岸草地と海岸林:三浦半島では, かつては山や丘陵地にも草地や茅場があり, ヤマラッキョウ, ワレモコウ, ミシマサイコ, イヨカズラ, リンドウなどの草原生植物が生育していたが, 草地が森林となったため, 丘陵地ではではこれらの草地生の植物がほとんどなくなり, わずかに海岸草地に見られる。また, 海崖や岩上には, 他では房総半島や伊豆半島などと共通するイズアサツキ, ハマイブキボウフウ, ハマシャジン, ソナレマツムシソウ, イガアザミ, ハマサワヒヨドリなどの海岸型と推定される植物が見られる。段丘斜面や砂浜の後背地にはクロマツ, ウバメガシ, ガクアジサイ, シャリンバイ, トベラ, ツルオオバマサキ, オオバイボタ, シマクサギなどからなる海岸林が残されている。小田和湾に面した自衛隊武山教育隊内の岩崎山のウバメガシ林は, 本種の分布の北限地である(原ほか, 2004)。

三浦半島の絶滅(海岸)植物と絶滅危惧(海岸)植物 海岸環境の変化などにより過去50年の間に絶滅し

た海岸植物や、絶滅に瀕した植物がある。

絶滅、または絶滅と推測される海岸植物：ハマホラシノブ、ハイネズ、イトクズモ、ハマアカザ、ハマハタザオ、イワタイゲキ、ハマビシ、ウラギク

絶滅が危惧される海岸植物：オキナワハイネズ、ウミヒルモ、エビアマモ、タチアマモ、コアマモ、ソクシラン、イズアサツキ、ハマオモト、アイアシ、オニシバ、ナガミノオニシバ、センダイスゲ、ナガボテンツキ、ヤリテンツキ、ピロードテンツキ、イセウキヤガラ、ハマカキラン、ハママツナ、ヒロハノカワラサイコ、ハマナタマメ、ハマボウ、ミシマサイコ、ハマイブキボウフウ、ムラサキセンブリ、スナビキソウ、シマクサギ、ウンラン、ソナレマツムシソウ、ハマシヤジン、ユキヨモギ、ハマサワヒヨドリ、ハマニガナ、ハマアキノキリンソウ

海岸植生の保全

博物館付属の天神島臨海自然教育園では、1966年開設以来保全と併せて環境教育・学習を行ってきたが、最近では市民ボランティアの協力を得ながら、園内のハマユウやハマボウ、クロマツの保護と増殖、笠島の清掃・整備などにより、海岸植生の保全を行っている。

また、三浦市小網代では市民グループ「小網代の森を守る会」と神奈川県・三浦市によりアカテガニの観察などを通して、森と海辺の保全が地道に続けられており、最近首都圏近郊緑地保全法による近郊緑地保全区域に指定された。三浦市黒崎ではソナレマツムシソウなどの固有の植物が失われたため、市民グループ「三浦の自然を学ぶ会」などが三浦市や他の市民団体とともに海岸植生の保全と回復を図っている。

海岸植生は、波打ち際から海岸林までの狭く帯状の地域にしか成立しない貴重な自然である。三浦半島だけでなく（高桑ほか編、2006）、共通する種の多い房総半島や伊豆半島では個体数の減少や、一部の個体群の絶滅が報告されている（千葉県レッドデータブック改訂検討委員会編、2009）。今後は三浦半島に残された自然海岸を早急に保全地域に指定してするなど、護岸や海岸の整備にさらに一層十分な配慮が望まれる。

引用文献

赤星直忠 1951. 三浦半島に於けるハマナタマメの分布. 史蹟名勝天然記念物調査報告書, (18): 1-4, 図版1. 神奈川県教育委員会.
 APG III 2009. An update of the angiosperm phylogeny group classification for the orders and families of flowering plants: APG III. *Bot. J. Linn. Soc.*, **161**: 105-121.
 Chase M. W. and Reveal J. L. 2009. A phylogenetic

classification of the plants to accompany APG III. *Bot. J. Linn. Soc.*, **161**: 122-127.
 千葉県レッドデータブック改訂委員会編 2009. 千葉県の保護上重要な野生生物. 487 ページ. 千葉県環境生活部自然保護課.
 (財)千葉県史料研究財団編 2003. 千葉県の自然誌別編 4 千葉県植物誌. 1181 ページ. 千葉県.
 原 正利・磯谷達宏・内山慶之・大森雄治 2004. 分布北限となる三浦半島小田和湾のウバメガシ林. 千葉中央博自然誌研究報告, **8**(1): 25-30.
 Haston E., Richardson J. E., Stevens P. F., Chase M. W. and Harris D. J. 2009. The linear angiosperm phylogeny group (LAPG) III: a lineae sequence of the family in APG III. *Bot. J. Linn. Soc.*, **161**: 128-131.
 石渡治一 1984. 三浦半島から消滅または激減した植物. 横須賀市博物館報, (31): 7-9.
 神奈川県植物誌調査会・神奈川県立博物館編 1988. 神奈川県植物誌 1988. 1442 ページ. 神奈川県立博物館.
 神奈川県植物誌調査会編 2001. 神奈川県植物誌 2001. 1580 ページ. 神奈川県立生命の星・地球博物館.
 勝山輝男 1990. 植物誌発刊後に記録された植物(3). *Flora Kanagawa* (神奈川県植物誌調査会ニュース), (28): 271-273.
 勝山輝男・田中徳久 2009. 県内のマツムシソウ. *Flora Kanagawa* (神奈川県植物誌調査会ニュース), (68): 831-832.
 河津英子 2004. 北限のハマボウ. *Flora Kanagawa* (神奈川県植物誌調査会ニュース), (57): 708.
 Kokubugata G. and Saito Y. 2006. Phylogenetic and biogeographic study of *Crepidiastrum platyphyllum* (Compositae) in the coastal area of the Sagami Sea, Japan. *Mem. Natn. Sci. Mus., Tokyo*, (42): 59-66.
 (財)国際生態学センター編 2001. よこすかの植生一みどりの調査と活用のための提案一. 168 ページ+4 表. 横須賀市.
 Konta F., Matsumoto S. and Katsuyama T. 2005. New and interesting taxa of vascular plants from Suzaki, Shimoda City, central Japan. *Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser. B*, **31**(1): 19-33.
 近田文弘・松本 定・勝山輝男・小西達夫・笹本岩男・野口英昭 2006. 伊豆須崎の維管束植物相. 国立科博専報, (42): 113-221.
 Kuo J., Kanamoto Z., Iizumi H. and Mukai H. 2006. Seagrasses of the genus *Halophila* Thouars (Hydrocharitaceae) from Japan. *Acta Phytotax. Geobot.*, **57**(2): 129-154.
 Makino T. 1917. A contribution to the knowledge of the flora of Japan. *J. Jap. Bot.*, **1**(4): 11-13.
 Makino T. 1926. A contribution to the knowledge of the

- flora of Japan. *J. Jap. Bot.*, **3**(6): 21-24.
- 増島弘行・石渡治一 1950. 三浦半島植物誌. 横須賀郷土文化研究室. 85 ページ. 神奈川県.
- 松野重太郎編 1933. 神奈川県植物目録. 5+111+23 ページ. 神奈川県博物館調査会.
- Ohba H. and Akiyama S. 2002. A synopsis of the endemic species and infraspecific taxa of vascular plants of the Izu Islands. *Mem. Natn. Sci. Mus., Tokyo*, (38): 119-160.
- 大場秀章編 2009. 植物分類表. 513 ページ. アボック社, 鎌倉.
- 大場達之 1975. ハチジョウイタドリシマタヌキラン群集—伊豆諸島のフロラの成立にふれて—. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), (8): 91-106.
- 大場達之 1983. 伊豆諸島の固有の植物群. 採集と飼育, **45**(9): 381-385.
- Ohashi H. and Ohashi K. 2007. Hybrids in *Crepidiastrum* (Asteraceae). *J. Jap. Bot.* 82: 337-334.
- 大森雄治 1985. 天神島臨海自然教育園のハマボウの生育状態. 横須賀市博物館報, (32): 10.
- 大森雄治 1986. イブキボウフウの小葉の葉形変異. 横須賀市研報 (自然), (34): 71-78.
- 大森雄治 1988. 三浦半島におけるマツムシソウの分布とその変遷. 横須賀市博物館報, (35): 2-4.
- 大森雄治 1992. 三浦半島におけるヤクシワダンの採集記録. *Flora Kanagawa* (神奈川県植物誌調査会ニュース), (33): 357-359.
- 大谷 茂 1955. 観音崎の植物. 横須賀市博物館ニュース, (1): 1-6.
- 大谷 茂 1967. 三浦半島植物相の考察. 三浦古文化, (3) : 88-114.
- 大谷 茂 1977. 神奈川県植物分布資料 (7). 横須賀市博物館報, (23): 1-13.
- 佐藤達夫 1970. 天神島のハマボウ. 横須賀市博物館報, (15): 4-6.
- 小崎昭則 1990. 神奈川県の子植物補遺(1). *Flora Kanagawa* (神奈川県植物誌調査会ニュース), (29): 296-297.
- 佐藤達夫 1970. 天神島のハマボウ. 横須賀市博物館報, (15): 4-6.
- 鈴木一喜・田中 勉・大森雄治 1984. 三浦半島南部の海浜植物とその分布. 横須賀市博物館報, (31): 1-6.
- 須山知香・杉野孝雄・植田邦彦 2008. アシタカマツムシソウのレクトタイプ指定とソナレマツムシソウ. 植物研究雑誌, **83**: 246-252.
- 高橋秀男・堀川美哉 2007. ハマラッキョウが三浦半島黒崎にも分布. 神奈川県植物誌調査会ニュース, (64): 795-796.
- 高桑正敏・勝山輝男・木場英久編 2006. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006. 神奈川県立生命の星・地球博物館.
- Uchimura M., Faye E.J., Shimada S., Ogura G., Inoue T. and Nakamura Y. 2006. A taxonomic study of the seagrass genus *Halophila* (Hydrocharitaceae) from Japan: Description of a new species *Halophila japonica* sp. nov. and characterization of *H. ovalis* using morphological and molecular data. *Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser. B*, **32** (3): 129-150.
- 山田麻子・原田 洋・奥田重俊 1997. 三浦半島南部における明治期の植生図化と植生の変遷について. 生態環境研究, **4**(1): 33-40.
- 山本 明・加藤僊重・小崎昭則・北川淑子・大森雄治 1991. 三浦半島沿岸におけるヒメオニヤブソテツの分布. *Flora Kanagawa* (神奈川県植物誌調査会ニュース), (30): 303-305.